

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

異なる線量計算アルゴリズムを使用した強度変調放射線治療線量検証の有用性の検討

1. 研究の対象

2024年4月1日から2024年6月30日までの間に、当院の放射線治療科で放射線治療を受け、治療装置がHalcyon (Varian社製) で、照射部位が頭頸部（上咽頭がん、舌がんなど）、胸部（肺がん、胸部食道がんなど）、腹部（傍大動脈リンパ腫、胃MALTリンパ腫など）、骨盤部（直腸がん、子宮頸がんなど）、前立腺のいずれかあり、かつ照射方法が強度変調放射線治療（IMRT）の方。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2024年12月30日 まで

3. 研究目的・方法

目的 下記の診療情報等を利用し、より正確な強度変調放射線治療（IMRT）の線量検証を行うために、2種類の計算方法での測定結果を比較し、適切な検証を行うための考察を行います。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：該当せず
- ・ 情報：過去に IMRT を行った患者の照射部位、治療計画プラン

5. 情報の提供先・提供方法

情報の提供は行いません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5163）

研究責任者 診療技術部 放射線技術科 小林 和樹

問い合わせ担当者 診療技術部 放射線技術科 小林 和樹